

のの山 けん



ゆきすぎた職員削減は学校や保健所で深刻な人手不足を招き、民間だのみの「外部化」で保育士など働く人の賃金が押し下げられてきました。私は、北区がこの20年間突き進んできた経済効率最優先の「行革」路線から、人を大切にする区政へと転換させるために、全力をつくします。

- 教員不足の解決、保育士などケアワーカーの処遇改善を
- 住民の声を反映した赤羽駅東口周辺のまちづくりに
- 赤羽公園を残し、もっと使いやすい憩いの場にリニューアル
- 選択的夫婦別姓制度を実現しジェンダー平等の北区へ

岸田政権による大軍拡ストップ!

戦争ではなく 平和の準備こそ

「敵基地攻撃能力の保有」「5年で軍事費43兆円」一岸田自公政権による大軍拡が平和を脅かしています。政府が“核兵器による報復”も想定し「核シェルター」をつくらうとしている自衛隊基地の中には、北区の十条駐屯地も含まれています。今求められているのは、戦争の準備などではなく、憲法9条を生かした平和外交と対話の努力ではないでしょうか。

【プロフィール】

- 1963年 愛知県刈谷市生まれ
- 東京外国語大学(西ヶ原キャンパス)イタリア語学科卒。民青同盟北地区委員長、同東京都委員長を経て党専従に。東京12区候補として05年総選挙をたたかう
- 区議4期、党区議団長、党地区副委員長
- 柔道2段。趣味は映画・オペラ鑑賞、韓国の歴史資料館めぐり
- 家族は妻

お困りごとがあれば、ためらわずご相談を
☎ 090-2156-3510

と一緒に区政をかえましょう



北区長予定候補
橋本やすこ
やさしいまちをつくる会・北区

今こそ

暮らしを支える政治に

物価高騰に悲鳴があがっています。日本共産党は3月議会で、新社会党とともに総額48億円の予算組み替えを提案。採決では自民、公明、維新などの与党多数により否決されましたが、掲げた施策が早期に実現されるよう、全力をつくします。

日本共産党

予算組み替えで提案した施策の実現に全力をあげます



▶ 区民の半数に届く
臨時給付金 45億円

人口約半数にあたる住民税非課税世帯と課税標準額200万円以下の納税者へ3万円の支給を提案



▶ 高齢者などへの
補聴器補助 6900万円

23区ですでに18区が実施・計画している補聴器補助を、北区でも新年度から実施するよう提案



▶ 国保料の均等割
18歳まで半額に 6300万円

現在就学前の児童までが対象の均等割5割減額を18歳まで拡大するための手当支給を提案

- ▶ 高校生・大学生への応援支援金 6900万円
- ▶ 住宅困窮者などへの家賃補助制度創設 4400万円
- ▶ 区内共通商品券の追加発行 5000万円
- ▶ 会計年度任用職員への手当支給 1400万円

総額
48億円

財源は
どうするの?
次ページへ

経済効率優先の新自由主義から
人を大切にする区政に

のの山 けん

区議会議員



積み上がった
基金は

区民生活の応援に

物価高騰が生活を直撃

日本共産党北区議員団が取り組んだ区民アンケートで、北区に望む施策の第1位が物価高騰対策、第2位が保険料の負担軽減でした。ジリジリと上がり続ける物価の影響を受けた暮らし・営業への支援はまったなしです。

北区に力を入れてほしい施策は

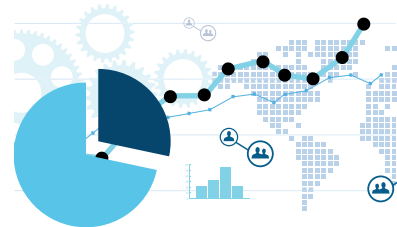
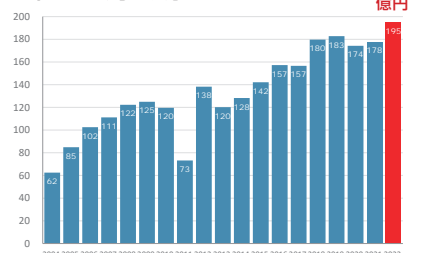
物価高騰対策	53.7%
保険料の負担軽減	43.0%
ケア労働の処遇改善	31.8%
子育て支援	27.0%
防災・水害対策	25.9%

日本共産党北区議員団区民アンケートより

区の貯金（財政調整基金）は過去最高の195億円に

コロナ禍の下でも増え続ける北区の貯金。主要5基金約750億円、使いみちが決まっておらず暮らしの支援に活用できる財政調整基金約195億円は、ともに過去最高です。私たちの組み替え予算は、財調基金40億円、まちづくり基金8億円を財源として活用することを提案しています。

コロナ禍の下でも増え続ける
北区の財政調整基金



区民への給付は地域経済も潤す

積み立てる基金を臨時給付金として区民に支給すれば、家計の支援になるだけでなく、消費を喚起し、地域経済の好循環を生むことにつながります。積み上がった基金は、暮らし・営業の応援に、思い切って活用させましょう。

駅前にタワマン呼び込む大型開発次々と

まちづくりは住民合意で

北区は十条・赤羽などの駅前に民間企業と一体にタワマンを呼び込む開発計画を推進。立ち退きを迫られる住民や店舗、商店街、学校、子どもの施設などへの影響も懸念されます。巨額の税金を投入する大型開発優先の姿勢を見直し、住民合意で進めるまちづくりへ転換します。



学校給食費が完全無償に

実現の先頭に立って奮闘 **日本共産党北区議員団**

この4月から、区立小中学校の給食費が完全無償化されました。物価高騰の影響で、新年度の給食費は中学生で年7万円近くにも。第1子からの完全無償化は、子育て世帯への大きなプレゼントです。この長年の区民要望を実現させるために、議会で先頭に立って猛奮闘してきたのが、日本共産党議員団です。



区議会で 真っ先に提案

2013年2月、日本共産党の八百川孝区議（当時）が代表質問で初めて給食費無償化を提案。以後何度も議会で要請を繰り返してきました。

住民陳情に 「採択」で後押し

2016年、第3子以降の給食費無料化を求める陳情に、共産党は「採択」を主張。自民、公明が「継続」としたため、採択に至りませんでした。

予算組み替え を独自に提案

2020年に第2子以降の負担が軽減された後も、第1子からの無償化を求め独自に予算組み替えを提案。ついに実現にこぎつけました。

住民の声を議会に届け 実現しました



コミュニティバス 新規路線運行へ

住民のみなさんとのねばり強い運動で、浮間に新規路線を実現。

学校・区民施設に 生理用品を設置

繰り返し議会で取り上げ、無料の生理用品が設置されました。

北区独自の 臨時給付金を支給

国の基準では除外される低所得者に、区独自の給付金を支給。

小・中学校臨時教員 事務補助員を増員

深刻な教員不足を補うための人材確保の提案が実現しました。

区議・区長選 4月16日告示・23日投票

日本共産党をのばして区政の転換を